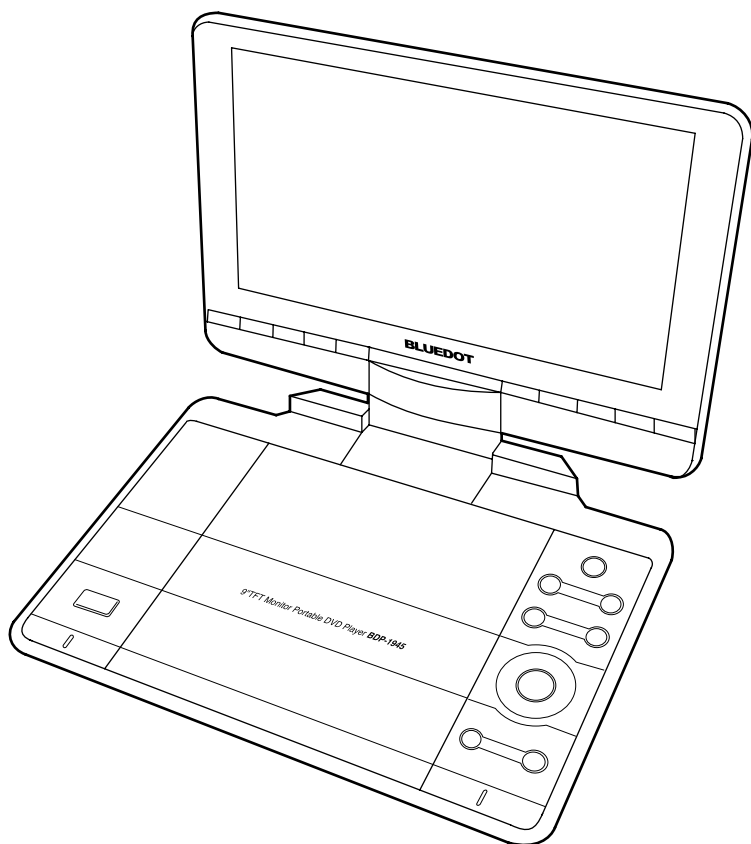
BLUEDOT®

9インチワイドTFTモニター
ポータブルDVDプレーヤー
BDP-1945

取扱説明書

BLUEDOT株式会社

はじめに

**弊社ポータブルDVDプレーヤーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
はじめに、この取扱説明書と保証書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後はいつでも見られるよう、大切に保管してください。**

本機の特徴

1. 回転式ディスプレイを搭載したスリムボディ

9インチの大画面を搭載しながら、厚さ29mmという最薄クラスのボディを実現しています。
また、ディスプレイを180度ぐるりと回転させれば、コンパクトに折り畳んだまま映像を楽しむことができます。その状態でも再生、停止、スキップなどの基本的な操作が行えます。

2. 美しい映像を再現

9インチで800×480×3(RGB)=115万画素の高精細なTFT液晶パネルを採用し、高画質で迫力ある映像はもちろん、字幕まで美しく表現することができます。

3. CPRM対応ディスクの再生に対応

デジタル放送を録画したCPRM対応ディスクの再生に対応。* レコーダーで録りためたテレビ番組を、移動中や旅先、通勤通学や待ち合わせなどの空き時間を使ってお楽しみいただくことができます。

* **読み込みにかかる時間や動作音が大きくなることがありますが、故障ではありません。**

4. CMスキップ機能を搭載

テレビ番組を録画したディスクの再生中に便利なCMスキップ(27秒スキップ)ボタンを、本体とリモコンの両方に搭載。すき間の時間をより効率的にお楽しみいただくことができます。

5. 拡張されたレジューム機能を搭載

本に『しおり』をはさむように、今まで観ていたシーンを覚えてくれるレジューム機能を搭載。再び電源を入れたとき、前回の続きから映像をお楽しみいただくことができます。
本機では、DVDビデオやVRモードで記録されたDVD(CPRM対応ディスクを含む)に加え、音楽CDやデータディスクに記録したMP3ファイルなどもサポートしています。また、ディスク5枚分まで記憶できるので、ご家族で共有してお使いの場合でも、安心してお楽しみいただくことができます。

* **レジュームは、SDメモリーカードではサポートしていません。**

もくじ

付属品

本機には、下記の付属品が同梱されています。
梱包を開けて、すべての付属品があるか点検してください。

品名	数量	品名	数量
・オーディオ・ビデオコード	1	・カーバッテリーアダプター	1
・リモコン	1	・ステレオイヤホン	1
・ACアダプター	1	・取扱説明書	1
・充電バッテリーパック	1	・保証書	1

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例	記号は、禁止される行為を表しています。
	記号は、行わなければならないことを表しています。

警告

異常な状態が見つかったら

プラグを抜く

煙が出たり、変なにおいや音がするなどの異常が見つかった場合は、すぐに本体の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。その後、弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。

ACアダプターやバッテリーパックなどは必ず付属品を使う。

指定以外のものを使用すると、火災や破損の原因となります。

付属のACアダプターはAC100～240V、50/60Hz以外の電源で使用しない。

禁止

指定以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。
また、海外での使用で故障した場合は、保証対象外となります。

付属のカーアダプターはDC12V以外の電圧で使用しない。

禁止

指定以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

バッテリーパックは指定の方法で充電する。

間違った方法で充電すると、火災や破損、液漏れの原因となります。

バッテリーパックを加熱したり分解したりしない。

禁止

破損や液漏れをして、火災やけが、やけどの原因となります。

電源コードは正しく抜き差しする。

- 濡れた手で抜き差しをしない。
- 電源プラグを持って抜き差しし、コードは引っ張らない。
- ほこりや汚れを付けたまま使用しない。

火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない。

禁止

- 加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしない。
- 上に重いものを載せない。
- ステープルなどでとめない。
- 熱器具に近付けたり、加熱したりしない。

コードが破損すると、火災や感電の原因となります。

⚠警告

電源プラグはしっかり差し込む。

根元まで確実に差し込まないと、火災や感電の原因となります。

レーザー光線は絶対にのぞかない。

ディスクの読み取りには、レーザー光線を使用しています。本体ケースを開けたり、本書の記載によらない操作を行って、レーザー光線を直接のぞかないでください。視力障害の原因になる場合があります。

次のような場所には置かない。

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所。
- 風呂場など、湿気やほこりの多い場所。
- 加湿器のそばなど、煙や湯気が出る場所。
- 窓を閉めきった車の中、ダッシュボードの上や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所。
- 花瓶やコップのそばなど、水がかかりやすい場所。

本体が落下して破損したり、熱や水滴による破損や火災、感電の原因となります。

内部に異物や水などを入れない。

本体やACアダプターなどの内部に、金属類や燃えやすいものを入れたり、液体をこぼしたりしないでください。
火災や感電の原因となります。

落下した機器は使わない

落としたり強い衝撃を与えたりして本体が破損した場合は、まず本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。その後、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

分解や改造はしない。

内部の部品に直接触れると、火災や感電、けがの原因となります。
また、弊社で責任を負うことができず、保証対象外となります。

運転中は絶対に使用しない。

車や自転車、オートバイなどを運転しながらの視聴は、絶対におやめください。
また、運転手以外の方が視聴する場合は、運転の妨げとならないよう、音量などに注意してください。
重大な交通事故の原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に置く。

本体の開閉時に指を挟んでけがをしたり、ボタン電池などの部品を飲み込んで窒息したり中毒になる恐れがあります。
万一何かを飲み込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。

ひざの上で長時間使用しない。

本体の底面が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となります。

布や布団で覆わない。

本体やACアダプターなどを、布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。
熱がこもると、ケースの変形や火災の原因となります。

雷が鳴り始めたら

本体や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

⚠注意

プラグを抜く

長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜く。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のためにACアダプターをコンセントから抜き、バッテリーパックを取り外してください。

プラグを抜く

お手入れのときは電源プラグを抜く。

感電や破損の原因となります。

移動するときは全ての接続を外す。

ACアダプターやオーディオ・ビデオコードなどを外してから移動してください。
コードが破損すると、火災や感電の原因となります。

禁止

機器の上に重いものを載せない。

機器の上に重いものを載せないでください。
また、機器の上に乗らないでください。
破損やけがの原因となります。

ボタン電池は指定のものを使用する。

リモコンの電池は必ず「CR2025」を使用してください。また、＋極と－極の向きに注意して、正しく交換してください。
火災や破損、液漏れの原因となります。

ディスクは回転が完全に止まってから取り外す。

けがの原因となります。
また、ディスクが傷つく恐れがあります。

禁止

破損や変形したディスクは使用しない。

本体を傷つけたり、本体内部に破片が飛び散ったりする恐れがあります。また、ディスクをさらに傷つける恐れがあります。

音量は徐々に大きくする。

電源を入れるときや外部機器と接続するとき、ヘッドホンを抜き差しするときは、あらかじめ音量を最小にしてください。
突然大きな音が出ると、聴力障害の原因となります。

禁止

大音量で長時間続けて聞かない。

耳を刺激するような大音量で長時間続けて音を聞くと、聴力障害の原因となります。
ヘッドホンを使用するときは特に注意してください。

禁止

映像を長時間続けて見ない。

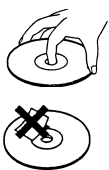
映像を長時間続けて見ると、視力障害の原因となります。また、目だけでなく体の一部に疲労感や痛みが出る恐れがあります。
そのときは使用を中断して、しばらく休息をとってください。
万一休息しても回復しない場合は、すぐに医師に相談してください。

データの破損について

お客様の取り扱いや、静電気、電気的ノイズ、衝撃、または機器の故障により、ディスクやデータが破損した場合の損害については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ディスク使用上の注意

ディスクの取り扱い方

・ディスクを汚さないように、再生面には触れないでください。
・ディスクに紙やテープを貼らないでください。
・ディスクに直射日光や熱源を当てないでください。
・再生後はディスクケースに保管してください。

ディスクの掃除

再生前に、柔らかくて清潔な布でディスクの中心から放射状に拭いてください。

結露(露つき)について

本機を寒い場所から温かい場所へ急に移動したり、湿気の多い場所に置いたりすると、湿気がピックアップレンズなどに結露し、故障や再生不良の原因となります。
その場合は、本機の電源を入れずに放置し、結露を蒸発させてからご使用ください。

ディスクの絵表示について

この説明書では、下のようなマークで使用できる機能を表しています。

マーク	表示
DVD	DVDの機能
CD	CDの機能

用語の説明

タイトル

DVDでは、映画本編と特典映像のように、異なる複数の内容が記録されていることがあります。
このような大きな区分けをタイトルといいます。

チャプター

各タイトルでは、一定の時間やシーンなどによって、さらに小さく内容を分けていることがあります。
このような小さな区分けをチャプターといいます。

トラック

CDに記録されている各曲のことを、便宜上、トラックということがあります。

DVDの構造

ディスク
タイトル 1 | タイトル 2 | タイトル 3 ---
タイトル
チャプター | チャプター | チャプター ---

CDの構造

ディスク
トラック1 | トラック2 | トラック3 ---

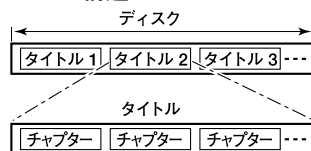
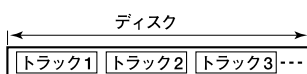
CDDA

音楽CDのことを、他のデータCDなどと区別するためにCDDAということがあります。

MP3

音声圧縮方式の一つで、高音質なまま音楽データのファイルサイズを小さくすることができます。

JPEG

静止画圧縮方式の一つで、デジタルカメラの写真やインターネット用の画像として、広く使われています。

本機で再生できるメディア

下の表のメディアが再生できます。

種類	メディア	ロゴ	内容	サイズ
DVDビデオ	DVD	DVD VIDEO	動画	12cm 8cm
DVD-VR (VRモード)	DVD		動画	12cm 8cm
CDDA	オーディオCD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音楽	12cm 8cm
VCD (SVCD)	ビデオCD （スーパービデオCD）	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	動画	12cm 8cm
MP3	データDVD/データCD/メモリーカード		音楽	
JPEG	データDVD/データCD/メモリーカード		画像	

◆ 本機では、DVD-R/RW、DVD+R/RW、CD-R/RW、SDメモリーカードを再生をすることができます。

次のメディアは本機では再生できません

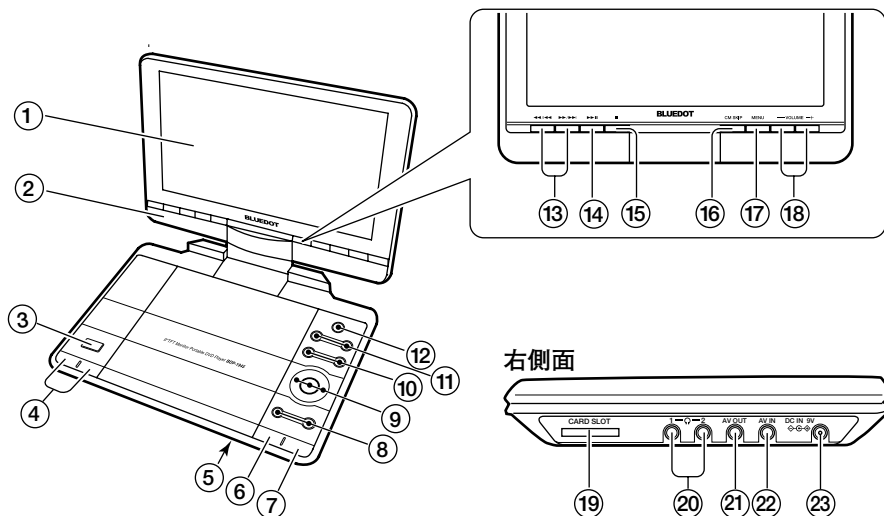
※ ブルーレイ、HD DVD、DVDオーディオ、DVD-RAMなどのディスクには対応していません。
※ AVCHD方式やAVCREC方式、HD Rec方式で記録されたディスクには対応していません。
※ レコーダーで録画したDVDで、ファイナライズされていないディスクには対応していません。
※ パケットライト方式で記録されたデータディスクには対応していません。
※ SDHCメモリーカードには対応していません。
※ microSD/miniSDメモリーカードをお使いいただくときは、市販の変換アダプターが別途必要です。
※ 記録された環境や記録状態、メディアの製造メーカーなどによっては再生できない場合があります。

本機で再生できるリージョンコード（地域番号）

DVDビデオ及びDVD再生機器には、地域ごとに割り当てられたリージョンコードが記録されています。
市販のDVDビデオは、DVD再生機器のリージョンコードと一致していないと再生できません。
日本国内のリージョンコードは “2” です。
本機のリージョンコードも “2” に設定されており、DVDのケースなどに右のマークのあるディスクが再生できます。

※ リージョン “ALL” はリージョン “0” と表現されていることがあります。

各部の名前

本体

① TFTカラー LCD 画面表示部

② スピーカー

③ **OPEN**ボタン

④ ◀◀/I◀◀（サーチ/スキップ）ボタン*
　▶▶/▶▶I（サーチ/スキップ）ボタン*

⑤ リモコン受光部

⑥ ▶II（再生/一時停止）ボタン

⑦ ■（停止）ボタン

⑧ **VOLUME ＋/ー**（音量）ボタン

⑨ **▲/▼/▲/▼**（上/下/左/右方向）ボタン
　OKボタン

⑩ **MONITOR**ボタン
　MENUボタン

⑪ **SOURCE**ボタン
　CARDボタン

⑫ **POWER**（電源）ボタン
　POWER ON（電源）/**CHG**（充電）表示
　　POWERボタンの中心が光ります。

⑬ ◀◀/I◀◀（サーチ/スキップ）ボタン*
　▶▶/▶▶I（サーチ/スキップ）ボタン*

⑭ ▶II（再生/一時停止）ボタン

⑮ ■（停止）ボタン

⑯ **CM SKIP**（CMスキップ）ボタン

⑰ **MENU**ボタン

⑱ **VOLUME ＋/ー**（音量）ボタン

⑲ メモリーカードスロット

⑳ 🎧（ヘッドホン）端子 **1/2**
　　ヘッドホンは2本接続できます。
　　ヘッドホンを接続すると本機のスピーカーからは音がでなくなります。

㉑ **AV OUT**（AV出力）端子

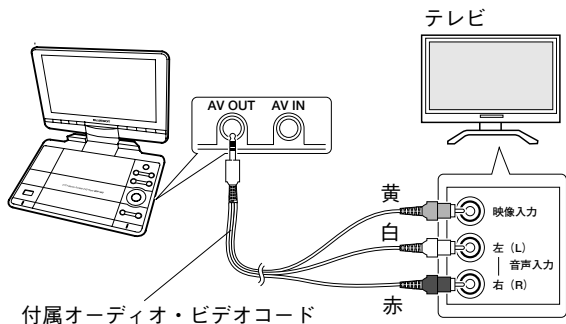
㉒ **AV IN**（AV入力）端子

㉓ **DC IN 9V**端子

* 通常どおり短く押すと**サーチ**（高速再生）、1秒以上長く押すと**スキップ**（飛び越し）として機能します。

リモコン

① **OSD**（オン・スクリーン・ディスプレイ）ボタン
② **音声切換**ボタン
③ **タイムサーチ**ボタン
④ **ブックマーク**ボタン
⑤ **再生モード**ボタン
⑥ **リピート**ボタン
⑦ **A-B** リピートボタン
⑧ **上/下/左/右方向**ボタン
⑨ **再生（►）**ボタン
⑩ **ズーム**ボタン
⑪ **スロー（I►）**ボタン
⑫ **一時停止（II）**ボタン
⑬ **サーチ（◄◄/►►）**ボタン
⑭ **スキップ（I◄◄/►►I）**ボタン
⑮ **停止（■）**ボタン
⑯ **CMスキップ**ボタン
⑰ **リターン**ボタン
⑱ **メニュー**ボタン
⑲ **トップメニュー**ボタン
⑳ **画面調節**ボタン
㉑ **設定**ボタン
㉒ **DVD/メモリー**ボタン
㉓ **数字**ボタン
㉔ **字幕切換**ボタン
㉕ **消音**ボタン
㉖ **送信部**

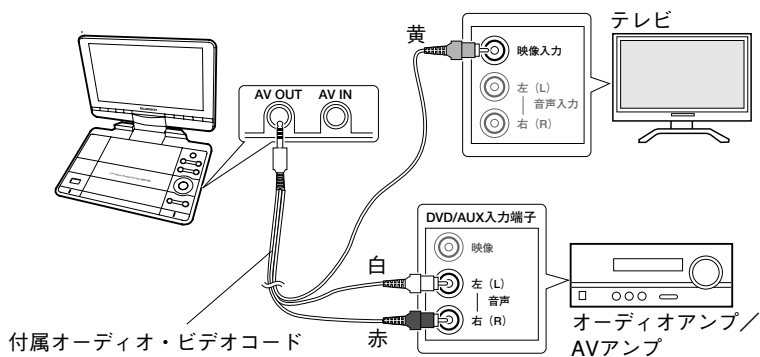
外部機器と接続するとき

⚠ ACアダプターは全ての接続が終了してから最後に接続してください。

テレビに接続する

◆ 付属オーディオ･ビデオコードを接続するときに雑音が出ることがありますので、テレビの音量（ボリューム）を最小にしてください。

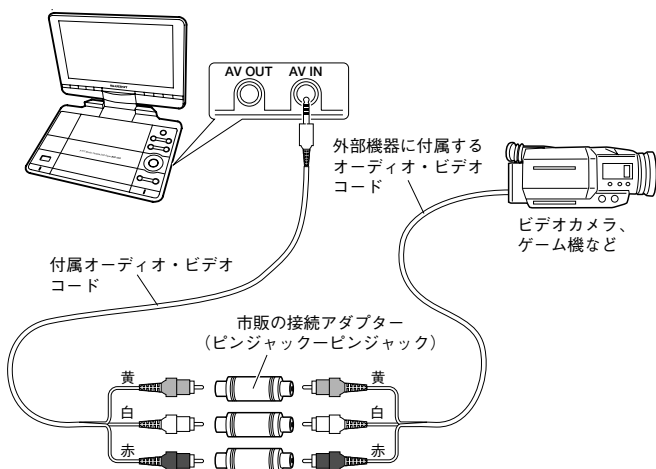
◆ 付属オーディオ･ビデオコードのミニプラグを本機の**AV OUT**（アウト）端子に、赤白黄のピンプラグをそれぞれ対応するテレビの入力端子に接続します。

※ **テレビで再生するときは、SOURCE（ソース）ボタンでAV OUT（AV出力）モードに切り換えてください。（12ページ参照）**

テレビとオーディオアンプ、またはAVアンプに接続する

◆ 付属オーディオ･ビデオコードを接続するときに雑音が出ることがありますので、テレビの音量（ボリューム）を最小にしてください。

◆ 付属オーディオ･ビデオコードのミニプラグを本機の**AV OUT**（アウト）端子に、赤白のピンプラグをアンプの音声入力端子に、黄のピンプラグをテレビの映像入力端子に接続します。

※ **テレビで再生するときは、SOURCE（ソース）ボタンでAV OUT（AV出力）モードに切り換えてください。（12ページ参照）**

外部の映像を本機で再生する

◆ 付属オーディオ・ビデオコードのミニプラグを本機のAV IN(イン)端子に接続します。
◆ 付属オーディオ・ビデオコードと、外部機器に付属するオーディオ・ビデオコードとを、市販の接続アダプターを使って接続します。
◆ 外部機器によっては、接続方法が上記と異なる場合があります。詳しくは外部機器の取扱説明書を参照してください。

※ **外部機器を再生するときは、SOURCE(ソース)ボタンでAV IN(AV入力)モードに切り換えてください。**

SOURCE(ソース)ボタンの使いかた

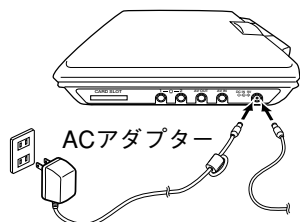
外部機器と接続するときは、SOURCE ボタンを押して設定を切り換えてください。
ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

① **AV OUT(アウト)**：AV OUT(AV出力)端子に接続したテレビなどでご覧になるとき。
② **AV IN(イン)**：AV IN(AV入力)端子に接続した外部機器の映像を本機でご覧になるとき。
③ **Disc(ディスク)**：本機の液晶画面でご覧になるとき。

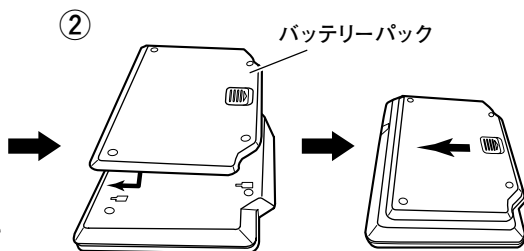
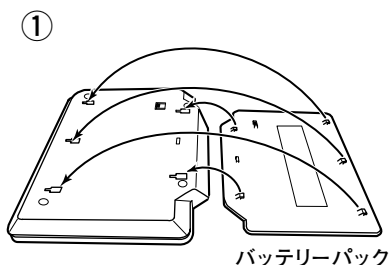
◆ 本機の電源をオンにした直後は、③の状態になっています。
この状態では、付属オーディオ・ビデオコードを接続しても、テレビで正常に表示することはできません。②の状態に切り換えてご使用ください。
◆ ボタン操作のとき、信号切換のためにしばらくの間、画面が黒または青になることがありますが、故障ではありません。

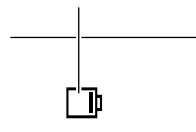
電源の準備

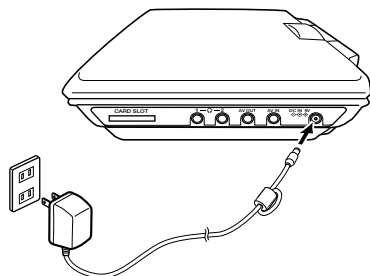
電源の接続

AC電源で使用する、またはカー電源で使用する

◆ 付属のACアダプターまたはカーバッテリーアダプターを本機の**DC IN 9V**端子に接続します。
◆ 付属のACアダプターは交流100V～240Vに対応しています。（保証対象は国内での交流100V使用のみとなります。）
また、**付属のカーバッテリーアダプターは12V車専用です。**

● **指定の電圧以外では使わないでください。**
● **ACアダプターやカーバッテリーアダプターを取り外す前に、必ず本機の電源スイッチをOFF（オフ）にしてください。**

充電バッテリーパックで使用する

◆ はじめに本機の電源をオフにし、ACアダプターは取り外します。
① 本体を裏返しにして、バッテリーパックの突起を本体のそれぞれの穴に合わせて入れます。
② バッテリーパックを、カチッと音がするまでスライドさせて固定します。
◆ 充電池の残りが少なくなると、画面上にローバッテリー表示が出ます。
◆ 工場出荷時は付属のバッテリーパックは充電されていません。ご使用の前に14ページの手順にしたがって充電してください。
◆ バッテリーパックは、周囲温度5℃から35℃の範囲でご使用ください。

ローバッテリー表示

バッテリーパックを使わないときは取り外しておいてください。
バッテリーパックを取り外すときは必ず14ページの手順で取り外してください。
無理に取り外そうとすると破損する恐れがあります。

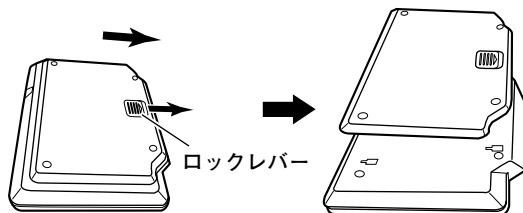
バッテリーパックを充電する

① 13ページの「充電バッテリパックで使用する」の手順でバッテリーパックを取り付けます。
② ACアダプターのDCコード側を本体の **DC IN 9V** 端子に接続し、プラグ側をコンセントに差し込みます。

◆ 充電が開始して、**POWER**（パワー）ボタンの中心（「**POWER**（パワー） **ON**（オン）/**CHG**（チャージ）」表示）が赤色に点灯します。
◆ 約4時間でフル充電になり、表示が消灯します。
◆ 充放電回数の目安は約500回です。

1. 充電中「POWER ON/CHG」表示が点灯している間はACアダプターを外さないでください。充電時間は目安であり、外部環境やバッテリーパックの状態などによって変わります。
2. 充電中や再生中はバッテリーパックが温かくなりますが、故障ではありません。

バッテリーパックの取り外しかた

バッテリーパックが取り付けられているときは、本体にロックされています。必ず下記のようにロックレバーを解除して、バッテリーパックを取り外してください。

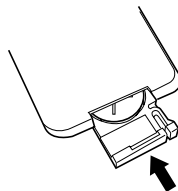
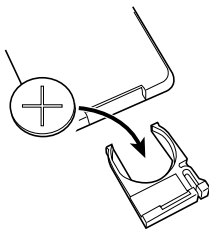
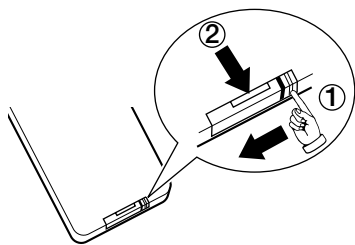
① **DC IN 9V** 端子からプラグを抜き、底面を上にして、ロックレバーをスライドさせます。
② ロックレバーをスライドさせたまま、バッテリーパックを矢印の方向へスライドさせて取り外します。

リモコンの使いかた

電池を入れる

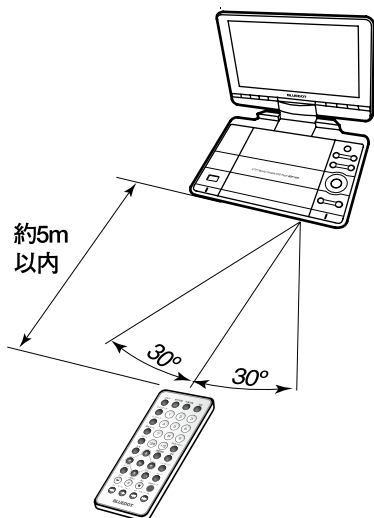
工場出荷時にはすでに電池がセットされていますが、放電しないようにプラスチック製の保護シートがはさまれています。ご使用の前に保護シートを丁寧に引き出してください。
また、電池を交換するときは、次の手順で交換してください。

1. 電池ホルダーを外す

2. 電池を入れ換える

3. 元に戻す

①の部分にツメを掛けて矢印の方向へ押しながら、②の部分にツメを掛けて引き出します。

◆ 電池を交換するときは「リチウム電池 **CR2025**」をご使用ください。

リモコンの操作範囲

◆ リモコンは本体のリモコン受光部に向けて、図の範囲で操作してください。
◆ ボタンを押しても動作しにくくなった場合は、新しい電池と交換してください。電池寿命は約1年です。
◆ リモコンを長期間使用しない場合は、電池を取り外しておいてください。

リモコン受光部に直射日光が当たったり、インバーター式の蛍光灯の近くで使用すると誤動作をすることがあります。この場合は位置を変えてください。

基本的な使いかた

ここではリモコン操作を中心に記載してあります。
同じ名前のボタンは本体でも同じ操作ができます。

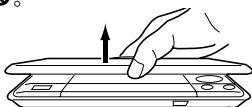
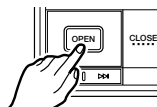
ディスクをセットする CD DVD

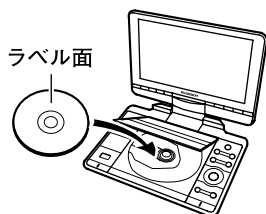
1. 電源の準備をする。

13ページを参照して電源の準備をします。

2. 電源スイッチをオンにする。

あらかじめVOLUME(ボリューム)ボタンで音量を最小にしておきます。

3. カバーの手前を持って、カバーを開ける。

4. OPEN(オープン)ボタンを押して、ディスクトレイカバーを開ける。

5. ディスクをセットする。

ディスクのラベル面を上にして、中心軸にカチッとおさまるようにセットします。

6. ディスクトレイカバーを閉める。

ディスクトレイカバーの手前を押して、カチッとロックするまでしっかり閉めます。

再生を始める CD DVD

再生(▶)ボタンを押す。

◆ DVDによってはメニュー画面が表示される場合があります。その場合は画面の指示にしたがってください。

停止する CD DVD

停止(■)ボタンを押す。

◆ 停止後に**再生**(▶)ボタンを押すと、停止した位置から通常再生を開始します。
◆ 完全に停止する場合は**停止**(■)ボタンを2回押します。

一時停止する CD DVD
ステップ再生(コマ送り)をする DVD

一時停止(II)ボタンを押す。

◆ 再生中に**一時停止**(II)ボタンを1回押すと一時停止します。
◆ DVD再生中は**一時停止**(II)ボタンを押すごとにステップ再生(コマ送り)になります。
◆ 通常再生に戻る場合は**再生**(▶)ボタンを押します。

操作禁止マークについて

DVDでは、制作者の意図により、シーンによって操作が禁止されていることがあります。
その場合は右図のマークが表示されます。

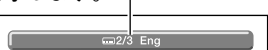
字幕(サブタイトル)を切り換える DVD

ディスクに複数の字幕が記録されているときは、リモコンボタンで切り換えることができます。

字幕切換ボタンを押す。

押すごとに、字幕が切り換わります。

3種類の字幕が選択できることを示します。

2/3 Eng

◆ 字幕を表示させたくないときは**オフ**を選択します。
◆ 字幕が記録されていないディスクでは、字幕を切り換えることはできません。

音声(オーディオ)を切り換える DVD

ディスクに複数の音声が記録されているときは、リモコンボタンで切り換えることができます。

音声切換ボタンを押す。

押すごとに、音声が切り換わります。

4種類の音声が選択できることを示します。

1/4 D 3/2.1 Ch Eng

◆ 音声が1つしか記録されていないディスクでは、音声を切り換えることはできません。

スロー再生(低速再生) DVD

ディスクを低速再生することができます。

スローボタンを押す。

押すごとに、再生速度が変わります。

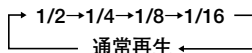
1/2→1/4→1/8→1/16 → 通常再生

◆ スロー再生中に**再生**(▶)ボタンを押すと通常再生に戻ります。

サーチ(高速再生) CD DVD

ディスクを高速再生して希望の場所を探すことができます。

サーチ(◀◀/▶▶)ボタンを押す。

押すごとに、再生速度が変わります。

◆ サーチ中に**再生**(▶)ボタンを押すと通常再生に戻ります。

スキップ(飛び越し) CD DVD

ディスクのチャプターやトラックを、飛び越したり出だしに戻ったりすることができます。

スキップ(|◀◀/▶▶|)ボタンを押す。

▶▶| ボタンを押す

押すごとに、次のチャプターまたはトラックに飛び越して再生を始めます。

|◀◀ ボタンを押す

1回押すと、再生中のチャプターまたはトラックの出だしに戻ります。
その後は押すごとに、前のチャプターまたは前のトラックの出だしに戻って再生を始めます。

CMスキップ CD DVD

約27秒先に飛び越すことができます。

CMスキップボタンを押す。

押すごとに、約27秒先に飛び越します。

◆ CMが1分間以上続くときは複数回押します。

リピート再生(繰り返し) CD DVD

ディスク全体やタイトル、トラックなどを繰り返し再生することができます。

リピートボタンを押す。

押すごとに、リピートモードが切り換わります。

DVD 再生時

① チャプター
② タイトル
③ リピートオフ

DVD プログラム再生時

① チャプター
② すべて
③ リピートオフ

CD 再生時

① トラック
② すべて
③ リピートオフ

◆ **リピート**ボタンを繰り返し押してリピートオフにすると、再生中のチャプターまたはトラックから通常再生に戻ります。

ABリピート再生 CD DVD

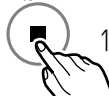
再生中に自分で指定した区間を繰り返し再生することができます。

1. 再生中、リピートを開始させる場所でA-Bボタンを押す。

2. リピートを終了させる場所で、もう一度、A-Bボタンを押す。

◆ 指定した区間を繰り返し再生します。
◆ **A-B** ボタンを繰り返し押してABリピートオフにすると、再生中の位置から通常再生に戻ります。

レジューム機能 CD DVD

再生を停止して電源を切った後、もう一度電源を入れると続きから再生することができます。

1. 停止(■)ボタンを1回押す。

2. 電源を切る。

3. もう一度電源入れると、停止した位置から再生が始まります。

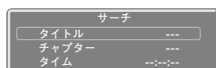
◆ 停止位置の情報は、ディスク5枚分まで記憶することができます。6枚目のディスクを入れると、最も古い情報から記憶が解除されます。
◆ ディスクを完全に停止すると、停止位置の記憶が解除されます。

タイムサーチ機能 CD DVD

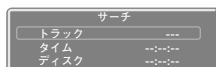
タイトルや、チャプター、トラック番号を直接入力したり、それぞれの先頭からの時間を指定してお好きな位置から再生を始めることができます。

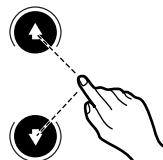
1. タイムサーチボタンを押す。

DVD 再生中

タイムサーチ画面が表示されます。

タイトル　：指定したタイトルを再生します。
チャプター：指定したチャプターを再生します。
タイム　：再生中タイトルの指定した経過時間から再生します。

CD 再生中

タイムサーチ画面が表示されます。

トラック　：指定したトラックを再生します。
タイム　：再生中トラックの指定した経過時間から再生します。
ディスク　：ディスク全体の指定した経過時間から再生します。

2. 上下方向（▲/▼）ボタンでサーチ方法を選び、番号や時間を指定する。

（例）

タイトル 3 を指定
　→「3」を押す。
チャプター 10 を指定
　→「1、10/0」の順に押す。
トラック 21 を指定
　→「2、1」または「+10、+10、5」の順に押す。
1 時間 5 分 30 秒を指定
　→「1、10/0、5、3、10/0」の順に押す。

3. 再生（►）ボタンを押す。

指定した位置から再生が始まります。

◆ プログラム再生中はタイムサーチ画面が表示されず、操作することはできません。
◆ ディスクに記録されているタイトル、チャプター、トラック数以上の数字は受け付けません。
◆ ディスクに記録されている時間以上の数字は受け付けません。

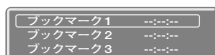
ブックマーク再生 CD DVD

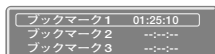
お好きなシーンでブックマークを付けておくと、いつでもその位置に移動することができます。マークは3ヶ所まで付けることができます。

ブックマークを付ける

1. 再生中にブックマークボタンを押す。

ブックマーク画面が表示されます。

ブックマーク

2. マークをしたいシーンになったら再生（▶）ボタンを押す。

ブックマーク１ 01:25:10
ブックマーク２ --:--:--
ブックマーク３ --:--:--

- ◆ 上下方向（⬆/⬇）ボタンを押してブックマークの枠を移動します。次にマークしたいシーンになったら、**再生**（▶）ボタンを押します。同様にして、3ヶ所までマークを付けることができます。
- ◆ ブックマークは、順番に関係なく好きな番号を選んで、マークを付けることができます。
- ◆ 電源を切ったりディスクトレイカバーを開けると、すべてのブックマークが解除されます。

ブックマークを使う

1. ブックマークボタンを押す。

ブックマーク画面が表示されます。

2. 上下方向（⬆/⬇）ボタンを押し、再生したいブックマークを選ぶ。

3. 再生（▶）ボタンを押す。

ブックマークされた位置から再生が始まります。

プログラム再生 DVD

ディスクのチャプターやトラックを、好きな順にプログラムして再生することができます。
プログラムは16チャプター（トラック）まで登録することができます。

1. 再生モードボタンを押す。

プログラム画面が表示されます。

プログラム
タイトル1
タイトル2
タイトル3
タイトル4
タイトル5
タイトル6
1 T1 C1　2 T2 C2
3　4
5　6
7　8
9　10
11　12
13　14
15　16
プログラム再生　クリア　オールクリア

- ◆ 再生中でも停止中でも操作できます。
- ◆ リピート再生時は、プログラム画面が表示されず、操作することはできません。

2. 上下方向（↑/↓）ボタンでタイトルを選び、再生（▶）ボタンを押す。

- ◆ 選択したタイトルに含まれるチャプター番号が表示されます。

3. 上下方向（↑/↓）ボタンでチャプターを選び、再生（▶）ボタンを押す。

- ◆ 登録したチャプター番号が、右側に表示されている登録一覧に追加されます。
- ◆ 一番上にある「.. 」を選択すると、タイトル番号の選択画面に戻ります。
- ◆ 2番目以降の登録を同様に繰り返します。

4. 右方向（➡）ボタンを押して、カーソルを移動する。

プログラム再生：プログラムした順に再生します。
クリア：最後の登録から１つずつ解除します。
オールクリア：すべての登録を解除します。

5. ［プログラム再生］を選び、再生（▶）ボタンを押す。

プログラムした順に再生が始まります。

- ◆ スキップ（⏮/⏭）ボタンを押すと、プログラムされた順にチャプターを飛び越します。
- ◆ プログラム画面で**オールクリア**を選ぶかディスクを完全に停止すると、すべてのプログラムが解除されます。

DVDのメニュー再生 DVD

ディスクにメニュー画面が記録されているときは、次のようにして表示することができます。

トップメニューを表示する

1. 再生中にトップメニューボタンを押す。

◆ トップメニュー画面が記録されているときでも、一定のシーンで操作が禁止されている場合があります。

2. 方向（⬆/⬇/⬅/➡）ボタンまたは数字ボタンでメニューの内容を選ぶ

◆ 操作方法はディスクによって異なります。詳しくはソフトのジャケットなどをご参照ください。

タイトルメニューを表示する

1. 再生中にメニューボタンを押す。

◆ タイトルメニュー画面が記録されているときでも、一定のシーンで操作が禁止されている場合があります。

2. 方向（⬆/⬇/⬅/➡）ボタンまたは数字ボタンでメニューの内容を選ぶ

◆ 操作方法はディスクによって異なります。詳しくはソフトのジャケットなどをご参照ください。

ズーム再生 DVD

映像を拡大、または縮小することができます。

ズームボタンを押す。

押すごとに、ズーム倍率が変わります。

① ×2
② ×3
③ ×4
④ 通常再生

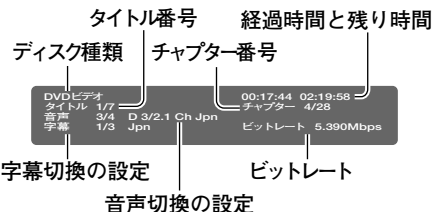
◆ 拡大表示のとき、方向（⬆/⬇/⬅/➡）ボタンを押すと、表示位置を移動することができます。

◆ **ズーム**ボタンを繰り返し押してオフにすると、通常再生に戻ります。

再生情報を表示する DVD

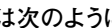
字幕や音声の切換設定など、再生中の映像の情報を確認することができます。

OSDボタンを押す。

OSD画面が表示されます。

◆ OSD画面を終了するには**OSD**ボタンを押します。

消音（ミュート）にする CD DVD

音声を一時的に消すことができます。

消音ボタンを押す。

◆ **消音**ボタンをもう一度押すと、元の音量に戻ります。

◆ 再生中でも停止中でも操作できます。

初期設定を変更する

設定内容の説明

本機では、テレビへの対応や音声出力方法など、様々な設定がされています。
これらの初期設定値を、お使いの接続機器などに合わせて変更することができます。
設定内容は次のようになっています。(　　　　で囲まれた項目が工場出荷時に設定されています。)

言語設定

OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)言語

本機の操作画面で表示する言語を設定します。
日本語、**英語**から選択します。

字幕、音声、ディスクメニュー

字幕、音声、ディスクメニューのそれぞれで、再生時の言語を設定します。
ディスクに記録されている指定言語が、この設定よりも優先されます。
特に指定言語が記録されていないときは、この設定にしたがいます。
日本語、**英語**、**オフ(字幕のみ)**から選択します。

映像設定

テレビ表示

テレビに接続するときに、テレビにあわせて縦横比を設定します。
ディスクによってはこの設定が有効にならない場合があります。
- **4:3** ：本機を4:3テレビに接続するときに選択します。
- **16:9**：本機を16:9ワイドテレビに接続するときに選択します。

映像モード

映像の表示サイズを設定します。
- **フルサイズ**：画面全体に伸ばして表示します。
- **オリジナル**：ディスクに記録されているサイズで表示します。
- **自動**　　　：自動的に縦横比をあわせて表示します。
- **ワイド**　　：上下または左右をカットして画面全体に表示します。

テレビ方式

テレビに接続するときに、テレビにあわせて信号方式を設定します。
日本国内でご使用の場合は、通常は**NTSC**のままで結構です。
- **NTSC**：日本やアメリカなどで採用されている方式です。
- **PAL**　：中国やヨーロッパなどで採用されている方式です。
- **マルチ**：**NTSC**と**PAL**とで自動的に切り換わるテレビに接続するときに選択します。

音声設定

E.A.M.（Enhanced Audio Mode）
（エンハンスド オーディオ モード）

3D効果を設定します。

ノーマル：3D効果は無効です。
3D効果　：3D効果は有効です。

ダイナミックレンジ

小音量でも音声を聞き取りやすくする機能を設定します。
この設定はドルビーデジタルディスクを再生するときのみ有効です。

オン：ダイナミックレンジ機能は有効です。
オフ：ダイナミックレンジ機能は無効です。

視聴設定

親による管理（視聴制限）

子どもに見せたくないディスクなどのレベルを規制する機能を設定します。
ディスクによってはこの設定が有効にならない場合があります。
例えば**5. PG-R**に設定すると**6. R**以上のレベルは再生できなくなりますが、そもそもディスクに規制レベルが設定されていない場合は、この設定は機能しません。

1. Kid Safe、**2. G**、**3. PG**、**4. PG-13**、**5. PG-R**、**6. R**、**7. NC-17**、**8. アダルト**から選択します。

パスワード

「親による管理」機能を変更するためのパスワードを設定します。

PBC（Play Back Control）
（プレイバックコントロール）

PBC対応ビデオCDに記録されているメニュー再生機能を設定します。

オン：メニュー画面の再生機能は有効です。
オフ：メニュー画面の再生機能は無効です（通常再生のみ）。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーを設定します。
5分間停止するか、操作がなかったとき、スクリーンセーバー画面になります。

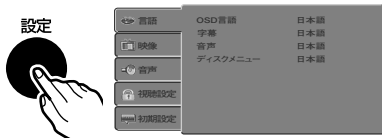
オン：スクリーンセーバーは有効です。
オフ：スクリーンセーバーは無効です。

初期設定

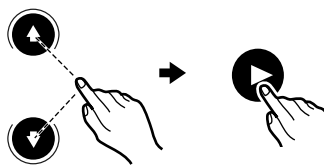
初期設定

工場出荷時の設定に戻します。
但し「親による管理」と「パスワード」の設定は変更されません。

各種設定を行う

1. ディスク再生中、または停止中に設定ボタンを押す。

2. 上下方向(⬆/⬇)ボタンで設定する項目の種類を選び、右方向(➡)ボタンを押す。

3. 上下方向(⬆/⬇)ボタンで設定する項目を選び、再生(▶)ボタンを押す。

上図の例では「視聴設定」の中の「スクリーンセーバー」を選んでいます。

4. 上下方向(⬆/⬇)ボタンで設定する項目を選び、再生(▶)ボタンを押す。

上図の例では「オン」を選んでいます。
続けて設定するときは、左方向(⬅)ボタンを押してカーソルを左側に戻してから繰り返します。

5. 設定ボタンを押す。

設定画面が終了します。

パスワードを変更する

1. ディスク再生中、または停止中に設定ボタンを押す。

2. 上下方向(⬆/⬇)ボタンで「視聴設定」を選び、右方向(➡)ボタンを押す。

3. 上下方向(⬆/⬇)ボタンで「パスワード」を選び、再生(▶)ボタンを押す。

パスワードの入力画面が表示されます。

パスワード入力

4. 数字ボタンで現在のパスワードを入力して、再生(▶)ボタンを押す。

パスワードは5桁です。工場出荷状態では「99999」に設定されています。
正しく入力すると「パスワード確認」と表示されます

5. もう一度、再生(▶)ボタンを押す。

新しいパスワードの入力画面が表示されます。

新パスワード入力

6. 数字ボタンで新しいパスワードを入力して、再生(▶)ボタンを押す。

パスワードが変更されます。

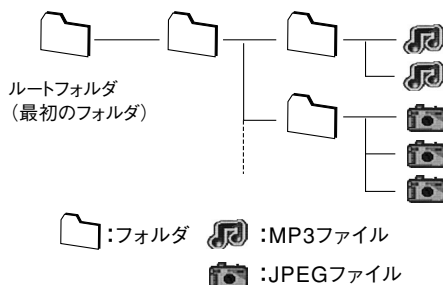
7. 設定ボタンを押す。

設定画面が終了します。

MP3/JPEGファイルを再生する

本機では、高音質なままファイルサイズを小さくできるMP3ファイルや、デジタルカメラなどで広く使われているJPEG画像を再生することができます。

- 再生するファイルには拡張子が「.mp3」（MP3ファイル）、「.jpg」（JPEGファイル）以外のデータを混ぜないでください。
- 異なったファイル形式に上記の拡張子を付けることは避けてください。
  大きな雑音が発生する恐れがあります。

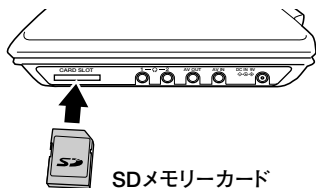
ファイル：音楽CDのトラック（曲）の相当します。
フォルダ：ファイルを収納しているフォルダです。
ファイルやフォルダは階層構造になっています。

準備

メディアをセットする

◆ ディスクを再生するとき

電源を入れ、ディスクをセットする。
（16ページ参照）

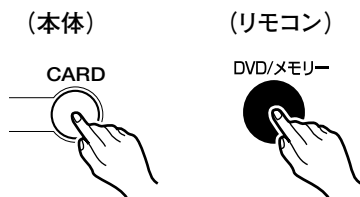
◆ メモリーカードを再生するとき

- 電源を切る。
- SDメモリーカードをカードスロットに入れる。

- 電源を入れる。

※ SDメモリーカードを抜き差しするときは必ず電源を切ってください。

再生するメディアを選択する

本体のCARD（カード）ボタン、またはリモコンのDVD/メモリーボタンを押してDVDとメモリーカードを切り換える。

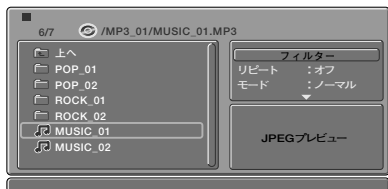
DVD/SDの選択画面が表示されます。

※ 記録された環境や記録状態、メディアの製造メーカーなどによっては、本機で再生できない場合があります。

メニュー画面から選んで再生する

1. メディアを選択する。

メディアの情報を読み込んでメニュー画面が表示されます。

2. 上下方向（⬆/⬇）ボタンを押して開きたいフォルダを選び、再生（▶）ボタンを押す。

フォルダの中身が表示されます。
目的のファイルが表示されるまで、フォルダの選択を繰り返します。
一番上にある「上へ」フォルダを選択すると、1つ上のフォルダへ移動します。

3. 再生するファイルを選び、再生（▶）ボタンを押す。

再生が始まります。

◆ **画像を表示するときは、ファイルサイズによっては表示に時間がかかることがあります。**

いろいろな再生

リピート再生（繰り返し）

リピートボタンを押す。

押すごとに、トラックリピート、フォルダリピート、リピートオフ（通常再生）が切り換わります。

トラック：ファイルを繰り返します。
フォルダ：フォルダ内の全ファイルを繰り返します。

再生モードを切り換える

再生モードボタンを押す。

押すごとに、シャッフル、イントロ、ノーマル（通常再生）が切り換わります。

シャッフル：ファイルを順不同に再生します。
イントロ：最初の10秒間のみ順に再生します。

◆ イントロ再生はMP3ファイルと音楽CDの再生時のみです。

プログラム再生

1. 画面右側の「編集モード」を選び、再生（▶）ボタンを押す。

2. 画面左側から登録したいファイルを選び、再生（▶）ボタンを押す。

ファイル名に「✔」記号が追加されます。
「✔」記号を追加した順にファイルが登録されます。

3. 画面右側の「プログラム入力」を選び、再生（▶）ボタンを押す。

プログラムが登録されます。

4. 画面右側の「プログラム表示」を選び、再生（▶）ボタンを押す。

プログラム登録一覧が表示されます。
通常再生に戻るときは「ファイル表示」を選び、再生（▶）ボタンを押します。

液晶画面を調節する

液晶画面の明るさや、彩度、表示サイズを変更することができます。

画面の明るさを調節する

1. 再生中または停止中に、本体のMONITOR(モニター)ボタンまたはリモコンの画面調節ボタンを押す。

押すごとに、次のように切り換わります。

① 明るさ
② 彩度
③ 表示モード

明るさ調節画面

08

2. 明るさ調節画面を表示し、左右方向ボタン(⇦/⇨)で調節する。

画面の彩度を調節する

1. 再生中または停止中に、本体のMONITORボタンまたはリモコンの画面調節ボタンを押す。

押すごとに、次のように切り換わります。

① 明るさ
② 彩度
③ 表示モード

彩度調節画面

08

2. 彩度調節画面を表示し、左右方向ボタン(⇦/⇨)で調節する。

画面の表示モードを切り換える

1. 再生中または停止中に、本体のMONITORボタンまたはリモコンの画面調節ボタンを押す。

押すごとに、次のように切り換わります。

① 明るさ
② 彩度
③ 表示モード

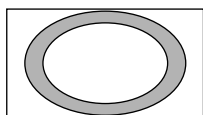
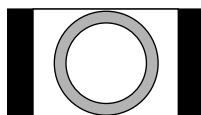
表示モード切換画面

全画面モード

標準モード

2. 表示モード切換画面を表示し、左右方向ボタン(⇦/⇨)で切り換える。

押すごとに、次のように切り換わります。

① 全画面モード

② 標準モード

故障と思われる症状ですが...

故障と思われる症状が出た場合、もう一度下の表にしたがって確認してください。

症　　状	対　　　応
電源が入らない。	・本機とACアダプターとの接続が確実か、ご確認ください。 ・バッテリーパックが本機に確実にはめ込まれているか、ご確認ください。 ・バッテリーパックは、あらかじめ充電してからご使用ください。 ・高温/低温下では使用できない場合があります。
ディスクが再生できない。	・ディスクをクリーニングしてから再度お試しください。 ・本機で再生できる規格のディスクか、ご確認ください。 ・テレビ番組を録画したDVDは、ファイナライズ処理を施してください。 ・ディスクトレイ内でディスクがしっかりと固定されているか、ご確認ください。 ・ディスクはラベル面を上にして固定してください。 ・本機内に結露が無いか、ご確認ください。ディスクを取り出し、本機の電源を1時間ほどオンの状態にしてください。
映像が出ない。	・テレビとの接続が確実か、ご確認ください。 ・本機に付属しているAVケーブルをご使用ください。 ・別の端子にケーブルを接続していないか、ご確認ください。 ・外部入力モードへの切り換えなど、テレビ側の操作が適正か、ご確認ください。 ・本機の「テレビ方式（NTSC/PAL）」の設定が適正か、ご確認ください。 ・ビデオデッキやDVDレコーダーなどを経由している場合は、直接テレビに接続してください。
音が出ない。	・本機の音量（ボリューム）が最小になっていないか、ご確認ください。 ・ヘッドホンが差し込まれたままになっていないか、ご確認ください。 ・テレビやアンプとの接続が確実か、ご確認ください。 ・テレビやアンプの音量操作が適正か、ご確認ください。
音質が悪い。	・本機の「音声設定」が適正か、ご確認ください。 ・テレビやアンプとの接続が確実か、ご確認ください。 ・本機に携帯電話を近づけて使用すると、雑音が入ることがあります。
リモコンが効かない。	・工場出荷時は、電池が放電しないように保護シートが挟まれています。この保護シートを丁寧に引き出してから使用してください。 ・本機の電源が入っているか、ご確認ください。 ・リモコンを本機の受光部に向けて操作してください。 ・リモコンと本機の間にある障害物を取り除いてください。 ・電池を新しいものと交換してください。
カーアダプターが差し込めない。	・2種類の太さに対応するため、先端にキャップが付いています。キャップを取り外して、先端を細くしてください。

技術仕様

<table>
<tr><td colspan="2">画面画素数</td><td>800（水平）×480（垂直）×3（RGB）</td></tr>
<tr><td colspan="2">レーザー</td><td>波長650nm</td></tr>
<tr><td colspan="2">テレビ方式</td><td>PAL/MULTI/NTSC</td></tr>
<tr><td colspan="2">周波数応答</td><td>20Hz～20KHz±1dB</td></tr>
<tr><td colspan="2">SN比</td><td>95dB以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">オーディオ歪み十ノイズ</td><td>−80dB（1KHz）以下</td></tr>
<tr><td colspan="2">チャンネルセパレーション</td><td>85dB以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">ダイナミックレンジ</td><td>85dB以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出力</td><td>オーディオ出力</td><td>出力レベル:2V±10%
負荷インピーダンス:10kΩ</td></tr>
<tr><td>ビデオ出力</td><td>出力レベル:1Vp-p±20%
負荷インピーダンス:75Ω、不均衡、負極性</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源</td><td>DC9V 2.2A</td></tr>
<tr><td colspan="2">許容動作温度</td><td>5～35℃</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力</td><td>20W以下</td></tr>
<tr><td colspan="2">寸法</td><td>243×180×29 mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">重量</td><td>約 970g（バッテリーパックを除く）</td></tr>
</table>

付属充電バッテリーパックの使用時間の目安。

<table>
<tr><td>DVD再生時、液晶表示 ON
DVD再生時、液晶表示 OFF</td><td>約 3時間
約 5時間</td></tr>
</table>

※ 液晶パネルは高い精度の技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素が生じる場合があります。必ずしも故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

※ 上記仕様は参考値です。また、仕様は改善のため予告なく変更する場合があります。

著作権について

- ◆ 著作物を無断で複製、放送、有線放送、上映、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）などを行なうことは、法律により禁止されています。
- ◆ 本機は、米国の特許およびその他の知的財産権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョン社の許可が必要であり、同社の許可がない限りは、一般家庭および特定の視聴用に制限されています。
  また、解析（リバースエンジニアリング）や改造は禁止されています。
- ◆ 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- ◆ Dolby、ドルビー、およびダブルD記号「DD」は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- ◆ DVDロゴは、DVDフォーマットロゴライセンシングの商標です。
- ◆ SDメモリーカードおよびSDロゴは、SD Associationの商標です。

バッテリーパックのリサイクルについて

不要になったバッテリーパックは廃棄せずに、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。その際は、金属端子部にセロハンテープなどを貼って絶縁してください。
バッテリーパック（充電式電池）の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人JBRCのホームページ（http://www.jbrc.com）を参照してください。

困ったときは

本書をお読みいただいても問題が解決しないときは、まずはホームページの『**FAQ**（よくあるご質問と答え）』をご活用ください。

http://www.bluedot.co.jp/support/

BLUEDOT® 株式会社

〒103-0004　東京都中央区東日本橋2-22-2　E,S 林ビル

E-mail : info@bluedot.co.jp

http://www.bluedot.co.jp

ブルードットサポートセンター

TEL: 0570-010080（ナビダイヤル）

※ナビダイヤルをご利用になれない場合は 048-662-7784 まで

E-mail : support@bluedot.co.jp

0906A